

—家庭はすべての教育の出発点—

参考：文部科学省

家庭：子どもたちが最も身近に接する社会。
常に子どもの心のよりどころとなるもの。



家庭教育ってなんだろう…

家庭教育は、すべての教育の出発点。
家族のふれあいを通して、子どもが基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

家庭の教育は個々の家庭の責任、他人に頼れない、関係ない、とってしまっていないですか。

確かに、子どもの教育の第一義的責任は親が持つものであり、尊重されなければなりません。
しかし… 子どもは家庭の中だけで育つわけではありません。学校や地域の様々な人たちと関わり、見守られながら成長していきます。

社会全体で家庭教育を支え合う



かつては…

親同士や地域の人々のつながりによって、子どもたちを「地域の子ども」として見守り、育てるなど、地域において子育てや家庭教育を支える仕組みや環境がありました。

昨今では…

地域社会は、地縁的なつながりや人との関係が希薄化し、親や家庭を取り巻く状況、子育てを支える環境も大きく変化しました。
また、家庭をめぐる問題も深刻化しています。

社会は家庭の応援団

保護者の方々の頑張りに対して、地域社会や学校、行政、企業等も力を合わせ、子育て家庭の「支え」となり、社会全体で子育てや家庭教育を応援していくことが求められています。